

教科・科目		対象学年	単位数	教科書	使用教材
国語・言語文化		普通科1年	3	言語文化 (数研出版)	<ul style="list-style-type: none"> ・言語文化準拠ワーク（数研出版） ・体系古典文法（数研出版） ・体系漢文（数研出版） ・国語便覧（数研出版）
科目の概要と目標		<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育てる。 ・伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨く。 ・言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成する。 ・現代の文章や古典を読み、読書に親しむ態度を育てる。 			
	単元	学習内容		到達度目標	
近 現 代	近代小説 (一)	『羅生門』		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動や心情を理解し、作品の主題を考察する。 ・すぐれた描写、効果的な表現を学び、表現力・感受性を豊かにする。 	
	詩歌	短歌 俳句		<ul style="list-style-type: none"> ・短歌や俳句の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。 ・短歌や俳句を創作する。 	
編	現代小説	『サラバ!』		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や言動から、心理や人物像を読み取る。 ・社会や文化の多様性について考察し、現代社会への視点を涵養する。 	
	近代小説 (二)	『城の崎にて』		<ul style="list-style-type: none"> ・作品に込められた作者の思い（主題）を理解する。 ・主人公の死生観に触れ、自分の人生について考える。 	
古 文 編	説話	「児のそら寝」 「絵仏師良秀」		<ul style="list-style-type: none"> ・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 ・古典文法の基礎知識を身につける。 	
	物語	『伊勢物語』		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心理描写を的確に読み取る。 ・歌物語における和歌の役割を考える。 	
	随筆	『徒然草』		<ul style="list-style-type: none"> ・作者のものの見方、考え方を読み取る。 ・文語のきまりや語句の意味を理解する。 	
	日記	『土佐日記』		<ul style="list-style-type: none"> ・日記・紀行文の特徴や登場人物の心情、行動等を理解する。 	
	随筆	『枕草子』		<ul style="list-style-type: none"> ・平安貴族の知性のあり方や価値観を理解し古典に親しむ態度を養う。 ・古典文法の知識を身につける。 	
	物語	『竹取物語』		<ul style="list-style-type: none"> ・古人が超越的な存在をどのようなものと考えていたか捉える。 ・敬語の知識を身につける。 	
	軍記物語	『平家物語』		<ul style="list-style-type: none"> ・中世文学の語法や表現の特徴、思想や人間像について理解する。 ・和漢混交文体の魅力にふれる。 	
	和歌	『万葉集』『古今和歌集』 『新古今和歌集』		<ul style="list-style-type: none"> ・和歌を鑑賞し、修辞技巧を理解する。 ・短歌の情景、心情などを古文の表現に即して読み味わう。 	
	漢文入門	入門一・二		<ul style="list-style-type: none"> ・文章の形態に応じた表現の特色に注意して読む。 ・訓読のきまり、書き下し文のきまりを理解する。 	
	故事	「漁夫之利」「矛盾」 「狐借虎威」		<ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の元になった文章を表現に即して読み味わう。 ・話の内容や展開を理解し、故事成語についての理解を深める。 	
史伝	「管鮑之交」 「鶏口牛後」		<ul style="list-style-type: none"> ・史伝における登場人物の人間性や心理を理解する。 ・古代中国人の考え方を知るとともに、ものの見方、考え方を広げる。 		
唐詩	絶句 律詩		<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩を読み味わうとともに、詩人の自然観・人生観について考える。 ・詩形・押韻・構成等の漢詩のきまりを理解する。 		
思想	『論語』		<ul style="list-style-type: none"> ・孔子の思想の概要を理解し、ものの見方、考え方を広げる。 ・我が国の文化と外国文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味関心を広げる。 		
文章	「雑説」		<ul style="list-style-type: none"> ・韓愈の文学的な活動について理解する。 ・部分否定の句法について理解する。 		